

山田町便り

今号は、山田町の復旧・復興全般をお伝えします。内容は、

1. 査定はクリスマスに（小谷島）
2. 苦戦の工事終盤戦（織笠）
3. ついに契約！防潮堤工事（織笠）
4. 高台移転は今（織笠）
5. 除雪は団結して

です。

1. 査定はクリスマスに（小谷島）

去る平成 25 年 10 月 16 日、台風 26 号の影響により被災した小谷島漁港の南防波堤 L=60m（ケーソン 3 函外 1）。この災害査定が、クリスマスの 12 月 25 日に行われました。

11 月 21 日に行われた事前調査にて、被災状況の説明、復旧工法案の絞り込みなどを行っていたこともあり、当日の査定はスムーズに進み、無事に採択されました。山田町にとっては、大変ありがたい「クリスマスプレゼント」となりました。

現在は、平成 26 年度内の工事完成を目標として、発注準備などを進めているところです。



【復旧工法を説明する高山係長】

2. 苦戦の工事終盤戦（織笠）

山田町派遣職員（交通基盤部）

平成 25 年度冬号

平成 24 年度より、物揚場等の漁港施設の災害復旧工事を進めている織笠漁港。完成を間近に控えた平成 26 年 2 月に、予想外の勢力が襲来しました。それは、9 日と 15 日における積雪です。この両日は、コンクリート舗装に使用する型枠（高さ 20 cm）を超えました。このため、除雪作業によりコンクリート舗装などの工程が遅れることに。しかし、請負者の工程調整の努力により 3 月末に現契約工事完成、の運びとなりました。これにより、織笠漁港全体の約 2 / 3 が完成します。来年度は、残っている棧橋部分などの復旧工事を進めていく予定です。



【こんなに降るとは・・・(H26.2.10)】

3. 契約！防潮堤工事（織笠）

過去 2 回の入札不調を経験した織笠漁港海岸の防潮堤工事。この苦難を乗り越え、平成 26 年 3 月 10 日、ついに仮契約を結びました。今後、3 月定例議会における議会承認を経て、本契約を結ぶ予定です。

今回契約した工事は、緩傾斜堤 L=303m と直立堤 L=439m の建設を行うもので、計画全体の約半分に当たるものです。契約額は約 17 億円、工期は平成 27 年度末の予定です。

平成26年度は、残る半分の詳細設計と用地調査を進め、できるだけ早く残りの部分の工事に着手できるよう業務を進める計画です。



【工事が始まる防潮堤（緩傾斜堤建設地）】

4. 高台移転は今（織笠）

平成26年3月7日、山田町役場職員を対象とした、織笠地区の高台移転に関する現場見学会が行われました。この工事は、大林組・戸田建設・飛鳥建設・建設技術研究所・復建技術による「山田町震災復興事業協同企業体」（平成25年6月契約）が担当しています。

この地区では、①防災集団移転促進事業2箇所、②土地区画整理事業1箇所、③災害公営住宅建設1箇所、が計画されています。①と②は、今月末から造成工事などが本格化し、平成27年春からの宅地引渡しなどを行う計画です。③は、平成25年秋に工事着手し、平成28年度の入居開始を目指して、鋭意、工事を進めています。

山田町における「復興」が見えてきました。今後の動向に注目です。



【造成（切土）が進む、③災害公営住宅建設地】

5. 除雪は団結して

平成26年2月9日と15日の積雪。静岡でも大変でしたが、こちらでも大変。地元の人が「このような積雪は記憶にないなあ」というほどのものに。気象庁の記録によると、宮古市における24時間降雪量は9日26cm、15日25cm（最大24時間降雪量は昭和19年3月12日の101cm）。

私たちが暮らす仮設住宅では、両日、地元の方々と協力し、朝から除雪作業を実施。「朝飯、食べたか？食べてないなら一緒にどうだ？」と地元の方が声をかけてくださったときは、うれしかったですね。

除雪の重労働さ、協力の必要性などを肌で感じた両日、となりました。



【車の使用をあきらめました（H26.2.9）】

編集後記

平成25年度の派遣職員が作成するのは、今回で最後となりました。ご愛読、ありがとうございました。平成26年度春号からは、平成26年度の派遣職員が作成します。

引き続き、山田町の復旧・復興をお伝えしますので、平成26年度もご愛読の程、よろしくお願いいたします。

発行：岩手県山田町水産商工課水産グループ

電話：0193-82-3111(代) FAX：0193-82-2302